

平成 2 8 年 9 月

伊東市議会 9 月定例会

決 算 大 綱 質 疑 要 旨

伊 東 市 議 会

決 算 大 綱 質 疑 順 序

- 1 正風改革クラブ 井 戸 清 司 君
(9 月 8 日 (木) 1 0 時 ~ 1 1 時 3 0 分)
- 2 自 民 ・ 絆 稲 葉 富 士 憲 君
(9 月 8 日 (木) 1 3 時 ~ 1 4 時 3 0 分)
- 3 民 進 ク ラ ブ 四 宮 和 彦 君
(9 月 8 日 (木) 1 4 時 4 0 分 ~ 1 5 時 4 0 分)
- 4 公 明 党 長 沢 正 君
(9 月 9 日 (金) 1 0 時 ~ 1 1 時)
- 5 日 本 共 産 党 重 岡 秀 子 君
(9 月 9 日 (金) 1 1 時 1 0 分 ~ 1 1 時 5 5 分)
- 6 会派に所属していない議員 杉 本 一 彦 君
(9 月 9 日 (金) 1 3 時 ~ 1 3 時 2 5 分)

※ 質疑時間は、進行状況によって変更することがあります。

決 算 大 綱 質 疑 要 旨

正風改革クラブ 井 戸 清 司

平成 2 7 年度伊東市各会計歳入歳出決算を踏まえ、以下伺う。

1 一般会計歳出について

(1) 第 2 款総務費に関し、以下 2 点伺う。

ア 第 1 項総務管理費の増額の要因について伺う。

イ 第 2 項徴税費の減額の要因について伺う。

(2) 第 3 款民生費に関し、以下 2 点伺う。

ア 第 1 項社会福祉費の増額の要因について伺う。

イ 第 3 項生活保護費の増額の要因及び被保護世帯の推移と現状について伺う。

(3) 第 4 款衛生費に関し、以下 2 点伺う。

ア 第 1 項保健衛生費の増額の要因について伺う。

イ 第 2 項清掃費の減額の要因について伺う。

(4) 第 6 款農林水産業費に関し、第 1 項農業費、第 2 項林業費及び第 3 項水産業費の増額の要因と各事業に対する成果について伺う。

(5) 第 7 款観光商工費に関し、第 1 項観光費及び第 2 項商工費の増額の要因と各事業に対する成果について伺う。

2 一般会計歳入について

(1) 第 1 款市税に関し、以下 2 点伺う。

ア 第 1 項市民税及び第 2 項固定資産税の減収の要因について伺う。

イ 第 6 項入湯税の増収について、市内経済との関連性を伺う。

(2) 第 1 0 款地方交付税の増額の要因について伺う。

(3) 第 1 4 款国庫支出金に関し、以下 2 点伺う。

ア 第 1 項国庫負担金の増収要因について伺う。

イ 第 2 項国庫補助金及び第 3 項委託金の減収要因について伺う。

(4) 第 1 7 款寄附金の減収理由について、どのように考えているのか見解を伺う。

(5) 第 2 1 款市債の減額要因及び今後の推移について、また減債基金の取り崩しとのバランスをどのようにとっていくのか、考えを伺う。

3 特別会計について

(1) 霊園事業特別会計に関し、事業収入及び財産収入の合計を事業費が上回り、一般会計からの繰り入れを受けなければならない現状について、本市の考えを伺う。

(2) 介護保険事業特別会計において、第 3 款地域支援事業費の各項の事業内容と事業の成果を伺う。

4 市税収入が減少し、歳出総額に占める義務的経費の割合が増加する一方で投資的経費が減少し、また人口減少及び高齢化がますます進行していく中で、平成 2 7 年度決算を踏まえ、どのような将来像を描き、自主財源の確保と政策課題に取り組んでいくのか、本市の考えを伺う。

決 算 大 綱 質 疑 要 旨

自民・絆 稲 葉 富士憲

平成 2 7 年度各会計決算を踏まえ、以下伺う。

1 次の基金の適正規模について、見解を伺う。

(1) 財政調整基金

(2) 減債基金

2 予算現額の 1 0 % 以上かつ 1 , 0 0 0 万円以上の不用額が生じた次の費目に関し、その主な理由を伺う。

(1) 一般会計決算について

ア 社会福祉総務費

イ 老人福祉費

ウ 児童福祉総務費

エ 子育て支援医療費助成費

オ 水産業振興費

(2) 介護保険事業特別会計決算について

ア 介護予防事業費

イ 基金積立金

3 平成27年度各会計予算案公表資料において主要事業とされた次の事業に関し、これらを実施したことによる効果、課題及び今後の展望について伺う。

- (1) 公共施設等管理計画策定事業
- (2) 生活困窮者自立支援事業
- (3) 長寿ふれあい交流助成事業
- (4) ひとり親家庭就学支援事業
- (5) 養育支援訪問委託事業
- (6) 健康ＣＯＭＥ 噛む推進事業
- (7) 対島地区ごみ収集委託事業
- (8) 伊豆・いとう地魚王国事業
- (9) 富戸漁港機能保全計画策定事業
- (10) なぎさ観光駐車場自動化事業
- (11) 伊豆半島ジオパークビジターセンター整備事業
- (12) 伊東ゴルフメッカ推進補助事業
- (13) 外国人観光客誘致活動推進事業
- (14) 着地型情報発信事業

- (15) マリントウン観光トイレ整備事業
- (16) 伊東産活力創出補助事業
- (17) 都市計画道路伊東大仁線改良事業
- (18) 津波避難案内看板整備事業
- (19) 同報無線屋外子局スピーカー改良事業
- (20) 学校茶文化推進事業

決 算 大 綱 質 疑 要 旨

民進クラブ 四 宮 和 彦

平成 2 7 年度執行の事業に関して、P・D・C・A マネジメントサイクルに基づき、各事業の成果及び今後の課題をどのように評価し、次年度以降の改善につなげたか、以下 6 点伺う。

1 平成 2 7 年度市政報告書には、同年度一般会計予算は、サマーレビューにおける見直しの結果「『人口減少対策』として有効であると認められる事業については別枠として取り扱うこととし、各課に対して積極的な予算要求を指示」したとあるが、「人口減少対策」として有効であると認められた事業及びそれらの事業の評価について伺う。

2 商工業振興補助事業におけるプレミアム商品券事業について、その成果を伺う。

3 特別会計 8 会計中、競輪事業特別会計、土地取得特別会計を除く 6 会計が一般会計から財源を繰り入れているが、その額は対前年度比で 4. 4 % 増と依存度をましている。特別会計における一般会計への依存度が今後どのように推移すると予測されるか、また、特別会計としての財源をどのように確保していくのか伺う。

4 下水道事業について、以下 2 点伺う。

(1) 年度普及状況において、水洗化普及率は前年度末と比較し 0. 3 ポイントの向上にとどまり、とりわけ宇佐美地区は対象世帯数が多いにもかかわらず普及率の低さが際立っているが、同地区において普及が進まない理由について伺う。

- (2) 認可面積に対して、供用区域面積がふえている一方で、処理開始対象世帯数は減少しているが、今後の公営企業会計への移行や人口減少問題及びインフラの維持管理経費の負担増加を見据え、普及率の向上による増収及び管渠敷設による幹線整備・面整備の進め方等、下水道事業を今後どのように進めていくのか、その方針について伺う。

5 病院事業会計について、以下2点伺う。

- (1) 平成27年度伊東市病院事業報告書には「伊東市医師会と伊東市民病院とは、病診連携を進めるため、市内医療機関との役割分担と連携強化の方策についての協議を行っています」とあり、また、地域医療の基幹施設としての役割を担うことが記載されているが、こうした事業方針をどこまで実現できたかについて伺う。
- (2) 静岡県東部地域における医療の現状を踏まえ、現在の伊東市民病院の役割・機能は、地域医療の基幹施設として十分なものであると考えているか伺う。また、保健・医療・福祉分野の総合的なサービスを提供する基幹施設として、今後どのような機能の充実を図るべきであるとするか伺う。

6 基金運用状況について、以下2点伺う。

- (1) 土地開発基金及び収入印紙等購入基金を除く平成27年度末時点における基金現在高は、対前年度比8.3%増となっており、特に、財政調整基金は対前年度比10.1%、減債基金は対前年度比24.8%と大きく伸びているが、総体的に基金残高がふえた要因を伺う。
- (2) 基金残高には、各年度の積み立てや寄附受け入れ等による原資の増加のほか、運用益の繰り入れによる増加分も含まれると思われるが、基金全体及び各基金の運用について、どのような状況にあるか伺う。

決 算 大 綱 質 疑 要 旨

公明党 長 沢 正

1 平成27年度各会計決算における各事業に関し、以下伺う。

(1) 「やさしさと笑顔にあふれる健康なまち」に係る事業について、以下3点伺う。

ア 一般会計における国民健康保険事業、介護保険事業、後期高齢者医療の特別会計への繰出金増加の傾向と、今後の見通し及び取り組みについて伺う。

イ 介護予防事業及び認知症対策に係る事業の取り組み状況及び成果について伺う。

ウ 地域包括ケアシステム構築に向けた取り組み状況について伺う。

(2) 「安全・安心で快適なまち」に係る事業について、以下3点伺う。

ア 地域防災力は向上しているか伺う。

イ 交通安全対策に係る事業の取り組み状況及び今後の傾向と対策について伺う。

ウ 下水道の接続状況及び接続促進に関し、取り組み状況及び今後の見通しについて伺う。

(3) 「場の力が創造する魅力・活力のあるまち」に係る事業に関し、独自の魅力を持った「選ばれる観光地」として展開した施策の成果及び今後の展望について伺う。

(4) 「まちづくりを進めるために」の事業に関し、競輪事業の成果と今後の展望について伺う。

- (5) 「心豊かな人を育み、生涯にわたって学習できるまち」に係る事業に関し、「夢や希望をもち、生きる力にあふれた児童・生徒の育成に努め、『確かな学力』、『豊かな心』、『健やかな体』の調和を重視した教育」の具体的な取り組み状況について伺う。

- 2 平成27年度決算概要説明書において、平成27年度一般会計当初予算は「市民幸福度向上を図り、将来像実現を目指して、市民と行政が協働し、知恵を出し合い、未来を見据えたまちづくりを進めるための経営方針である『未来協知の更なる実践』に基づいた各種施策の展開」を念頭に置いた旨が記載されているが、具体的にどのように市民幸福度の向上を図ったのか伺う。

決 算 大 綱 質 疑 要 旨

日本共産党 重 岡 秀 子

- 1 市税の状況は、市内経済や市民生活を反映すると考えるが、平成27年度決算における個人市民税と入湯税の状況をどのように分析しているか伺う。
- 2 伊東温泉観光客実態調査の実施方法及び活用方法について伺う。また、今後、調査項目などの見直しや調査方法の変更を検討する計画はあるか伺う。
- 3 じん芥処理費に関し、以下4点伺う。
 - (1) 平成27年度に初めて民間委託した対島地区一般廃棄物収集運搬業務委託費の積算内訳と、その執行状況について伺う。
 - (2) 一般廃棄物収集運搬業務の民間委託について、課題や問題点を伺う。
 - (3) ペットボトルのステーション分別収集事業について、実施状況及び効果を伺う。
 - (4) 粗大ごみの福祉収集について、どのように実施されたか伺う。
- 4 平成27年度における臨時職員の雇用状況について、以下2点伺う。
 - (1) 人員及び賃金や手当などの総額を伺う。
 - (2) フルタイムで正規職員と同等の仕事に従事していると考えられる職員の割合について伺う。

決 算 大 綱 質 疑 要 旨

杉 本 一 彦

1 第3款民生費第2項児童福祉費第2目児童福祉施設費について、以下2点伺う。

- (1) 本市保育園における平成27年度と現在の待機児童数を伺うとともに、その原因について伺う。
- (2) 待機児童ゼロを目指しこれまで行ってきた対策と成果及び今後の展望について伺う。

2 第3款民生費第3項生活保護費について、以下3点伺う。

- (1) 平成27年度における生活保護扶助費の総額及び現時点での生活保護受給者数並びに生活保護率を伺う。
- (2) 平成27年度における生活保護受給者の推移について伺う。
- (3) 生活保護扶助費の抑制及び不正受給防止のための取り組みについて、考えを伺う。

3 第4款衛生費第1項保健衛生費第3目夜間救急医療センター費及び伊東市病院事業会計について、以下3点伺う。

- (1) 平成27年度における夜間救急医療センター及び伊東市民病院の夜間救急の受診者数について伺うとともに、どのように評価しているか伺う。
- (2) 平成27年度の執行の結果を踏まえ、夜間救急医療センターと伊東市民病院を統合することにより、本市の医療に要する経費は削減され、より効率的になると考えるが、将来に向けた本市の夜間救急医療体制についての考え方を伺う。
- (3) 伊東市民病院の医師・看護師の人員確保について、それぞれ必要人員と不足人員について伺うとともに、今後の見通しを伺う。